

カメラ一体型ドライブレコーダー

DRY-FV53GP

取扱説明書

12V車専用

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、同梱品のmicroSDカードに最大約120分の動画を常時録画します。

注意

- ・事故発生時は記録された録画データが書ききれないように、必ず電源をOFFにしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- ・電源がONの状態でもmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後LEDが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。



目次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	7
本書をお読みいただくにあたって	9
GPS 測位機能について	9
各部の名称と働き	10
取り付けかた	12
microSD カードの装着 / 取り外し	14
電源について	15
充電について	17
録画ファイルについて	18
記録ファイルの読み出しについて	20

動画記録モード

映像を記録する	22
設定を変更する	24

静止画記録モード

静止画を記録する	28
再生モード	
記録ファイルを再生する	30
設定を変更する	32

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトの使いかた	35
----------------	----

その他

USB カバーの装着 / 取り外し	45
故障かな？と思ったら	46
仕様	47
アフターサービスについて	48
保証書	裏表紙

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 DRY-FV53GP	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前	様
ご住所	〒
TEL ()	
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 同梱品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

プロダクトキー

プロダクトキー

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。

絵表示について

この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

この記号は、関連するページを示します。

本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

警告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

手動記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

注意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。

警告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

注意

取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

運転中に画面等を注視しないでください。前方不注意による事故の原因になります。

❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

❌ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

❌ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

● 電源コードについて

⚠ 警告

❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れをよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

❗ エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

❌ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

● microSDカードについて

⚠ 警告

❗ microSDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

❗ microSDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危険

❌ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❌ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❌ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

❌ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告

❗ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

❗ リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

❗ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。充電：0℃～+45℃
リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

❌ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。

❌ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。

❌ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

❌ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

使用上のご注意

つづく

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。上書き禁止にするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画データが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販の新しいヒューズ（2A）と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 液晶パネル部に関する注意

- ・ 表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■ microSD カードに関する注意

- SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- SD カードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

■ GPS 測位に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- リチウムイオン電池には寿命があります。
- 充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内蔵電池（充電式リチウムイオン電池）の交換（修理対応）をご依頼ください。
- 安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>



リチウムイオン電池はリサイクルへ

■ 取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ 撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

本書をお読みいただくにあたって

はじめに	P. 2	「安全上のご注意」や「同梱物の確認」など、まずお読みいただきたい内容が記載されています。
動画記録モード	P. 22	動画記録モードの使いかたを説明しています。
静止画記録モード	P. 28	静止画記録モードの使いかたを説明しています。
再生モード	P. 30	再生モードの使いかたを説明しています。
ビューアソフト	P. 35	ビューアソフトの使いかたを説明しています。
その他	P. 45	「故障かな？と思ったら」が記載されています。仕様などはこちらをご覧ください。

実際にご利用いただく流れに沿って内容を構成しています。

GPS 測位機能について

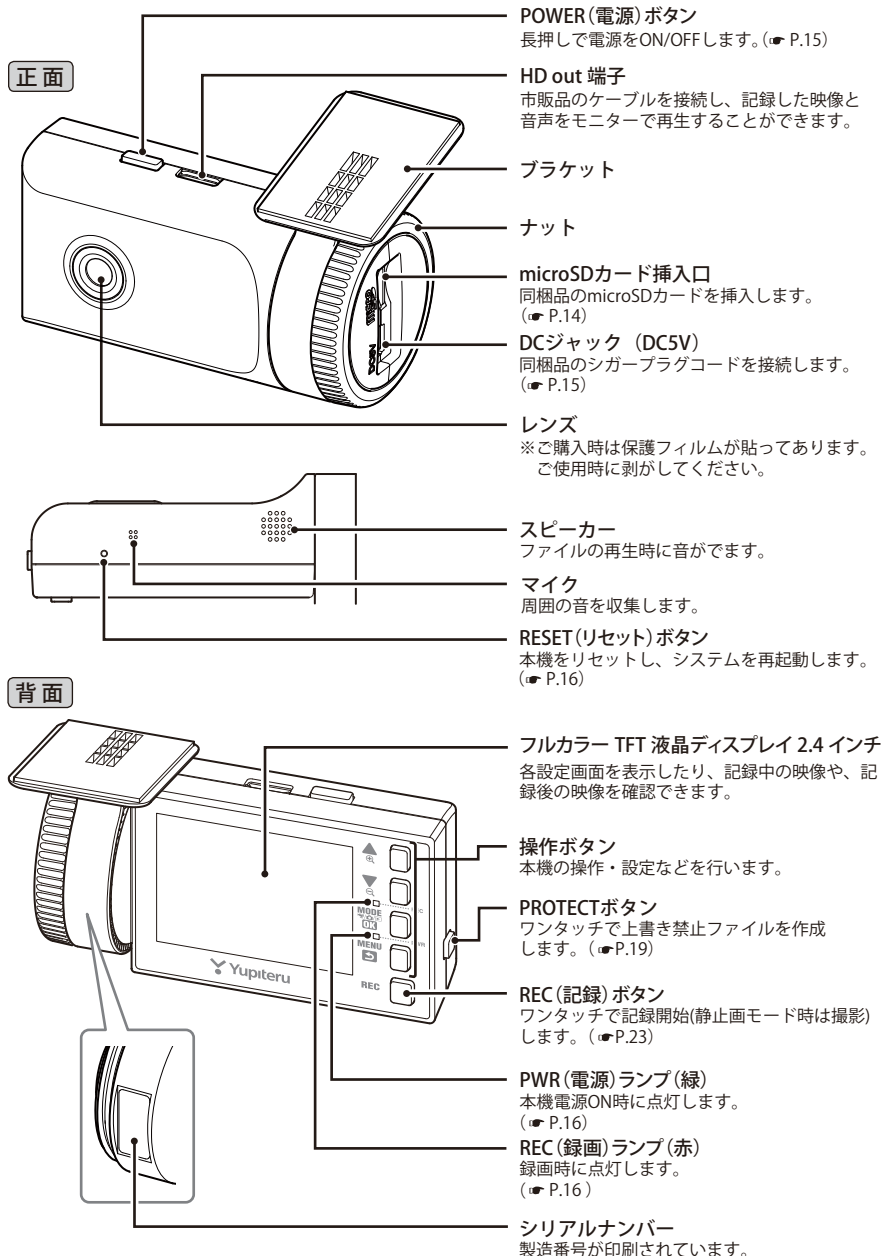
GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の 24 個の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。

- 車のエンジンを始動します。
本機の電源が入ると、GPS 測位機能が働きます。

通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- TVによるGPS測位障害について
車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

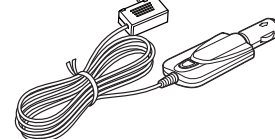
各部の名称と働き



同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

- 5V コンバーター付シガープラグコード (約 4 m) ……………1



- ブラケット ……………1
- microSD カード (4GB) ……………1
- 両面テープ ……………1
- 取扱説明書・保証書 (本書) ……1

・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

専用ビューアソフトについて

・GPS から取得した位置情報と撮影した映像を連動してご覧になれる専用ビューアソフトを同梱しています。位置情報も確認しながら映像をお楽しみになれます。(●P.35)
・専用ビューアソフトは、同梱品の microSD カード内に収納されています。誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

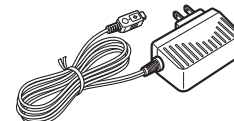
同梱品の追加購入について

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「X X (機種名) 用 ○○ (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。
詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

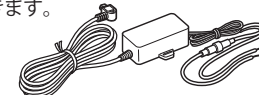
Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

別売品

- ACアダプター OP-E368
本体 3,000円 + 税
ご家庭で使用することができます。



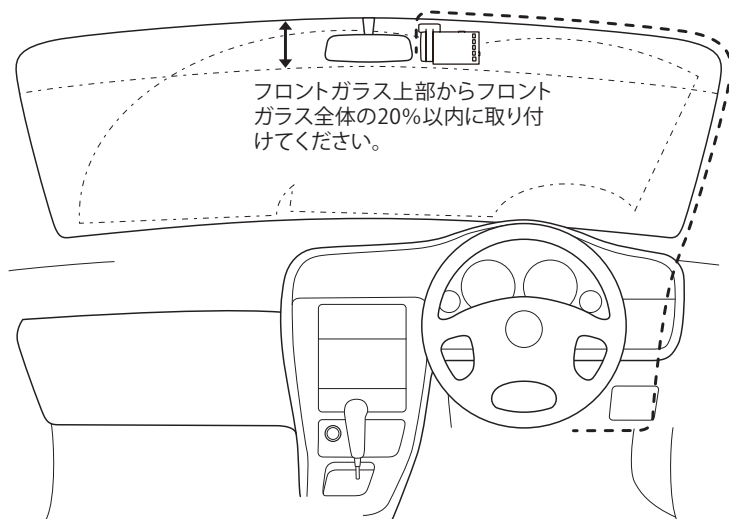
- 電源直結コード OP-E487 (約4m)
本体 2,000円 + 税
シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。



※ 電源直結コードをご使用の際は「USB カバー」を装着してお使いください。(●P.45「USB カバー」の装着 / 取り外し)

取り付けの注意

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ淵の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。



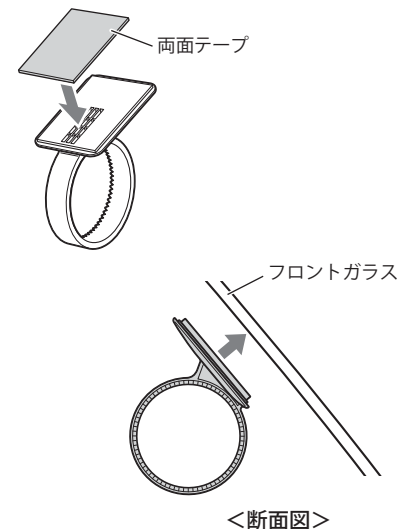
取り付け・取り外し方法

フロントガラスの角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。[特許第 4712858 号]

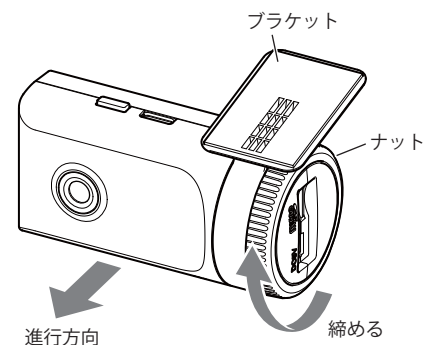
1 ブラケットに同梱品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

- ・あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付けてください。

- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
- ※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。



2 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する



microSD カードの装着 / 取り外し

※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※ 本機は、2GB 以上の microSD カードまたは、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。
(SD スピードクラス「Class6」以上)

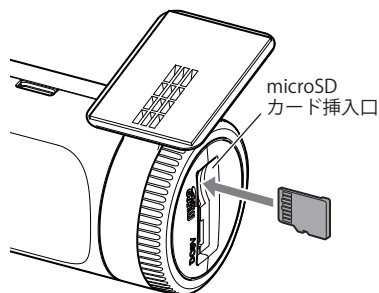
⚠ 注意

- 電源を OFF (電源ランプ消灯) にしてから行ってください。
- micro SD カードは一方方向にしか入りません。micro SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- microSD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1 本機からシガープラグコードを取り外す

2 電源を OFF (電源ランプ消灯) にして、microSD カード挿入口に microSD カードを『カチッ』と音がするまで押し込む

右図の向きに合わせて入れてください。



- microSD カードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※ microSD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

3 本機にシガープラグコードを接続する

4 本機でフォーマットする (☛ P.32,34)

⚠ 注意

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源を OFF にしてから microSD カードを抜いて保管してください。

電源について

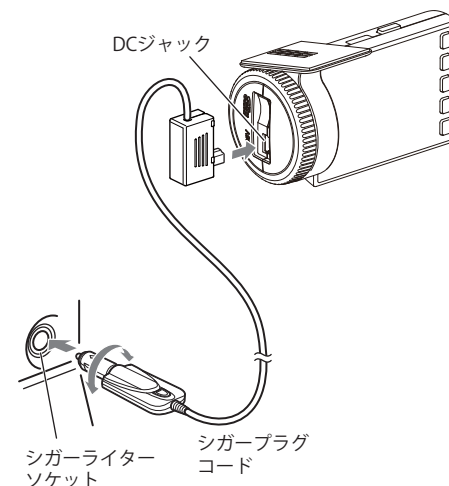
つづく

接続方法

同梱品のシガープラグコードを接続する。

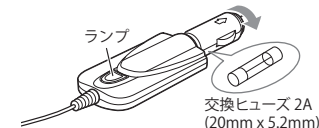
同梱品のシガープラグコードを本機の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込む。

※ 同梱品のシガープラグコードをご使用ください。



ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない (ランプが点灯しない) 場合は、シガープラグコードが奥まで差し込まれていることと、シガープラグ内のヒューズ (2A) が切れていないことを確認してください。図のようにシガープラグの先端を矢印の方向に回し、元に戻すときは、逆方向に回してください。



内蔵電池のみで使用する

電源ボタンを 2 秒以上長押しする。

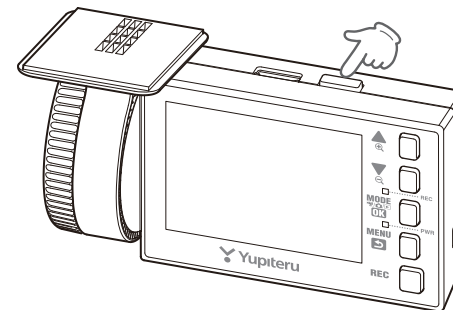
電源が ON になります。

※ 電源が ON にならないときは充電してください。

手動で電源を OFF にする

電源ボタンを 2 秒以上長押しする。

録画ファイルを保存して、電源が OFF になります。



電源について

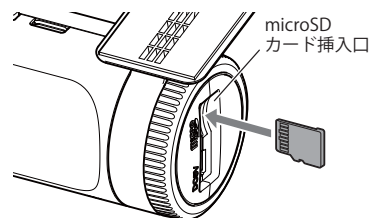
録画の開始

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1 本機でフォーマットされた同梱品の microSD カードが挿入されていることを確認する

同梱品の microSD カードが挿入されていないときは、電源が OFF（電源ランプ消灯）であることを確認して、同梱品の microSD カードを挿入してください。

- ※ microSD カードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSD カードや本機の故障の原因となります。
- ※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは microSD カードにデータの書き込みが行われています。microSD カードの抜き差しは、電源が OFF（電源ランプ消灯）の状態で行ってください。

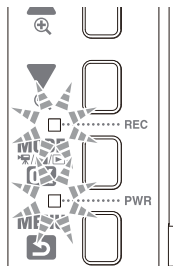


2 車両のエンジンを始動する

本機に電源が供給されると電源ランプ（緑）と録画ランプ（赤）が点灯し、動画の記録が開始されます。

・GPS が測位されると、GPS アイコンが画面上部に表示され、GPS 情報を取得します。

- ※ 自動的に録画が開始されない場合は、動画記録モードになっていることを確認して、REC ボタンを押してください。（▶ P.25）
- ※ このとき、GPS から情報を取得して自動的に日時の調整をします。



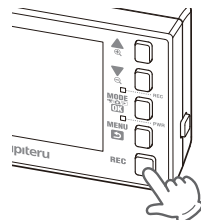
録画の停止

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

1 車両のエンジンを切る

電源が OFF になります。

- ・手で録画を停止したい場合は、録画中に REC ボタンを押します。



リセットボタンについて

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、下面のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

- ※ リセットボタンを押しても microSD カードに記録したデータは消えません。



充電について

内蔵電池を充電する

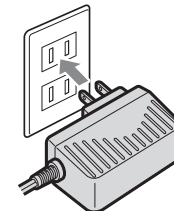
充電温度範囲 0 ～ + 45℃ 過充電防止回路付

- 車両からの充電は、同梱品のシガープラグコードを本体の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込み、電源が供給されると充電が行われます。

約 2.5 時間で満充電になります。

- ※ 充電可能温度範囲は、0 ～ + 45℃です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。その場合は、別売品の AC アダプター（OP-E368）を使用し、室内での充電をお勧めいたします。

- 別売品の AC アダプター（OP-E368）を使用し、の充電は、約 2.5 時間で満充電になります。



電池残量アイコンについて

内蔵電池で使用しているときは、画面右下に次のように電池の状態を表示します。

状態	電池残量多い	電池残量少ない
アイコン		

満充電の状態でも録画動作を行った場合は約20分間使用できます。

※録画を行わない場合は最長約50分使用できます。

※設定や動作条件によって短くなることがあります。

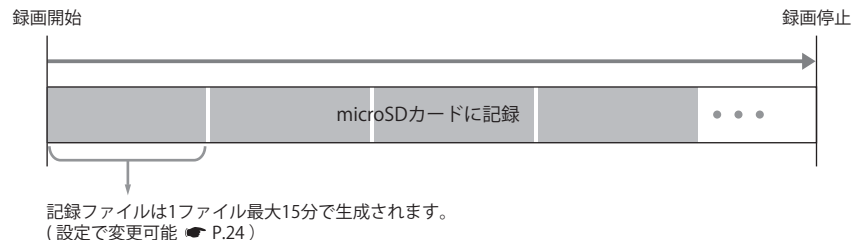
内蔵電池には寿命があります。充電しても使用可能時間が短くなった場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

常時録画

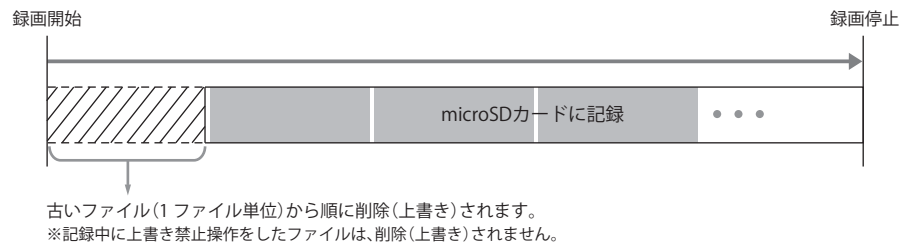
エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を microSD カードに常時録画します。1 ファイルの録画時間や上書き動作は、設定内容によって異なります。(P.24)

初期設定 (720P 15fps) で、同梱品の microSD カード (4GB) に約 120 分の常時録画が可能です。(P.47)

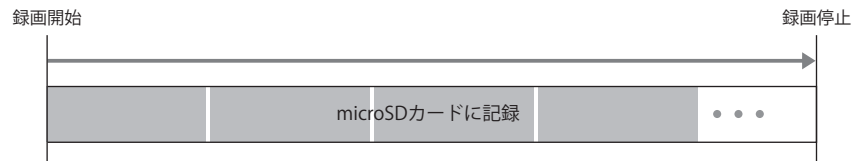
◆ 録画開始から録画停止まで 約120分以内の場合



◆ 録画開始から録画停止まで約120分を越える場合(常時録画上書きオンの場合)



◆ 録画開始から録画停止まで約120分を越える場合(常時録画上書きオフ(25分単位)の場合)



記録映像の上書き保存はしません。microSD カード内の記録映像を、バックアップなどしてから削除し、再度記録を開始してください。

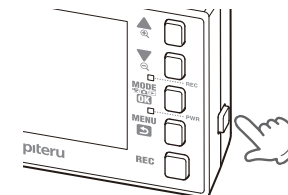
上書き禁止ファイルの作成 (ワンタッチ記録)

常時録画中に本機のプロテクト PROTECT ボタンを押すことで、設定されたファイル単位の映像を microSD カードの「SWEVT」フォルダに、上書き禁止ファイルとして移動します。

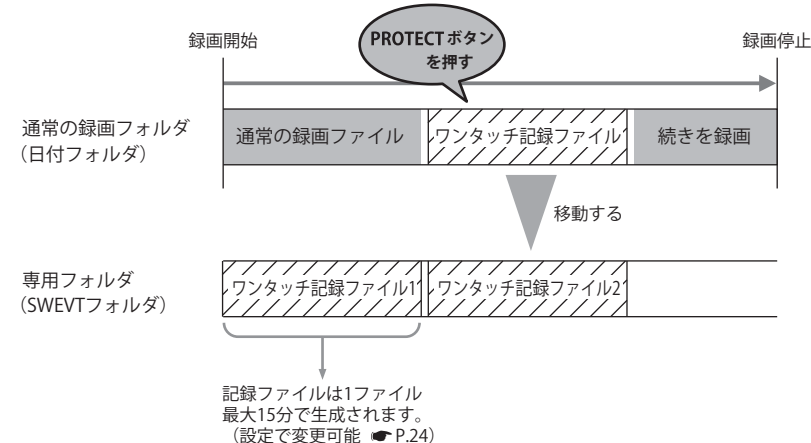
1 ファイルの録画時間は、設定内容によって異なります。(P.24)

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。



◆ ワンタッチ記録のファイル構成例



※専用フォルダに上書き設定はありません。microSDカードの容量がいっぱいになったら、「SDカード容量がいっぱいです」と画面に表示し、本機の記録を停止します。

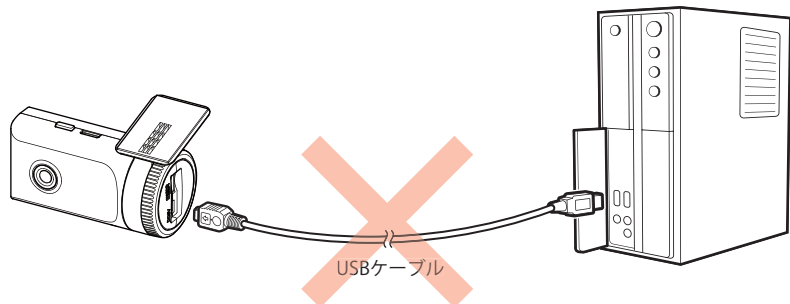
バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

記録ファイルの読み出しについて

本機で記録した画像や映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。以下の仕様を満たしたパソコンで、表示または再生することができます。

OS：Microsoft Windows 7 または 8
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ：2GB 以上

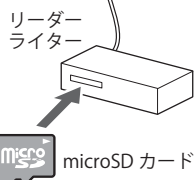
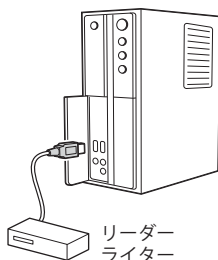


- ※ 本機とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
- ※ 本機から microSD カードを取り出して、microSD カードをパソコンと接続してください。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要です。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ ご使用の microSD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、microSD カード内のファイルが破損することがあります。

microSD カードを直接パソコンと接続する

1 リーダーライターをパソコンに接続する

※ microSD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。



2 同梱品の microSD カードをリーダーライターに接続する

3 microSD カードを開き、[DCIM] フォルダを開く



4 目的の日付のフォルダを開き、録画ファイルをダブルクリックする

- ・ Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。
- ・ 上書き禁止されたファイルは、フォルダ名に SWEVT と付いたフォルダ内に保存されています。(P.19)



ファイル名について

記録した時間、ファイル番号がファイル名となります。
※ファイル番号は(0001～9999)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

11 04 0001 . AVI — 動画(静止画の場合は「JPG」となります)
時 分 ———— ファイル番号

フォルダ名について

フォルダ番号、記録した日付がフォルダ名となります。
※フォルダ番号は(100～999)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

100 2 10 25
———
日
月
年の末字 2012
フォルダ番号

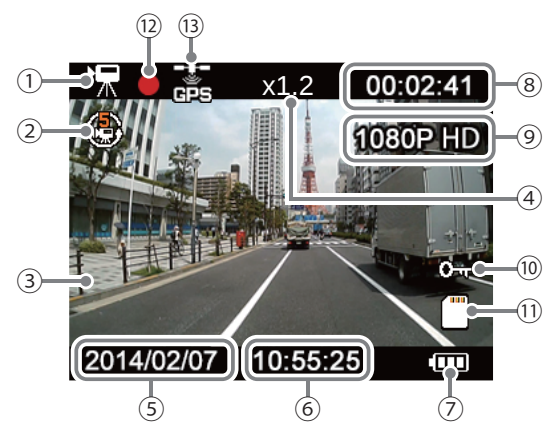
ワンタッチ記録されたファイルは、フォルダ番号の後に「SWEVT」と付きます。
※フォルダ番号は(101～999)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

101 SWEVT
———
フォルダ番号

映像を記録する

動画記録モード画面

動画記録モードでは、ビデオカメラのように連続して動画を記録します。



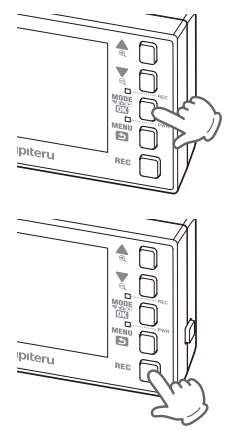
No.	表示名	説 明
①	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
②	ファイル分割時間	録画ファイル構成で設定した長さを表示します。(☞ P.24)
③	ファインダー	カメラのファインダーです。
④	ズーム倍率	ズーム倍率(x1.2～x4.0)を表示します。 ※ ズーム倍率は固定されません。電源を OFF にしたり、他のモードに変更した場合、1.0 倍に戻ります。
⑤	日付	現在の日付を表示します。
⑥	時刻	現在時刻を表示します。
⑦	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(☞ P.17) ※ 内蔵電池のみで使用しているときに表示します。
⑧	記録時間 / 記録可能時間	記録時には現在の映像の 1 ファイル単位の記録時間を、記録停止時には現在の設定での記録可能時間を表示します。
⑨	解像度	記録解像度を表示します。(☞ P.24)
⑩	ファイルプロテクトアイコン	ワンタッチ記録されたファイルに表示します。(☞ P.19)
⑪	microSD アイコン	microSD カードが挿入されていることを表示します。
⑫	記録マーク	動画記録中に点滅表示されます。
⑬	GPS アイコン	GPS が測位されると画面に表示されます。

動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機 能
	1 倍～4 倍までズームインします。
	4 倍～1 倍までズームアウトします。
	動画記録停止中は、モードを変更します。 動画記録中は、画面を消します。
	動画記録停止中は、動画記録モード設定メニューへ(☞ P.24)
	動画記録の開始、または停止をします。
	動画記録中に押すと、記録中のファイルを上書き禁止に設定します。(☞ P.19)

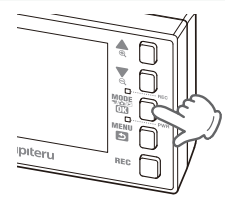
映像を記録する

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認する
- 2 ボタンを押して、動画記録モードにモード変更する
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。
- 3 REC ボタンを押して、動画記録を開始する



動画記録中のファインダー表示を消す

- 1 ボタンを押して、動画記録中にファインダーの表示を消すことができます。
※ ボタンを押すたびに「表示」「非表示」が切り替わります。電源の ON/OFF に関係なく、最後の設定が保たれます。



動画記録モード

動画記録モード

動画記録モードの設定メニュー

動画記録モードの設定を、確認または変更します。



項 目	設 定	説 明
解像度	1080P HD 10fps	動画記録の解像度を選択します。 1080P HD：1920 x 1080 1080P：1440 x 1080 720P：1280 x 720
	1080P 15fps	
	720P 30fps	
	720P 15fps(★)	
録画ファイル構成	2 分単位	動画記録を設定した長さで分割保存します。
	5 分単位(★)	
	10 分単位	
	15 分単位	
音声録音	オフ	映像と同時に、音声も記録するか設定します。
	オン(★)	
常時録画上書き	オフ	上書きオンで microSD カードの容量が不足している時、古いファイル(1 ファイル単位)を消去して新しいファイルを保存します。 上書きオフの場合は録画ファイルが最大 25 分単位になり記録映像の上書き保存はしません。 ※ microSD カード内の記録映像を、バックアップなどしてから削除し、再度記録を開始してください。
	オン(★)	
SD カード容量残警告	オフ	上書き禁止ファイルの合計容量が、microSD カードの容量の 50% 以上になった場合。および、上書き禁止ファイルを保存する空き容量が無い場合に、ピープ音でお知らせします。 ・上書き禁止ファイルが 50% 以上 「ピッピッピッピッ…」(電源オンから録画開始まで) ・上書き禁止ファイルを保存する容量が無い 「ピッピッ ピッピッ …」(常時 5 分間隔) ※ 何かボタンを押すと警告音を停止します。
	オン(★)	

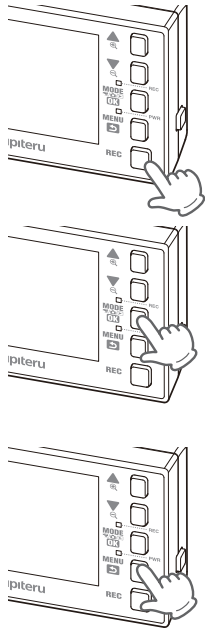
★は初期設定値です。

設定操作時のボタンの機能

ボタン	機 能
▲ Q	設定項目を選択したり、値を増加します。
▼ Q	設定項目を選択したり、値を減少します。
MODE OK	選択項目を決定します。
MENU S	モード画面へ戻ります。

設定メニューへの変更

- 1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、REC ボタンを押して、動画記録を停止する
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。
- 2 MODE OK ボタンを押して、動画記録モードを選択する
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。
- 3 MENU ボタンを押して、動画記録モードの設定メニューを表示する



設定を変更する

システム設定

本機の基本設定を、確認または変更します。

※ システム設定メニューは動画記録モード、再生モードのどちらからでも表示させることができます。



項 目	設 定	説 明
日 / 時刻	—	日付、時刻を設定します。 ※手動で設定した場合でも、GPS の日 / 時刻情報が優先され、変更されます。
操作音	オフ	操作音のオン / オフを設定します。
	オン(★)	
フリッカレス機能	50Hz	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz 西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
	60Hz(★)	
デフォルト設定	キャンセル	設定を初期設定値(★)に戻します。
	確認	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

★は初期設定値です。

設定操作時のボタンの機能

ボタン	機 能
▲ Q	設定項目を選択したり、値を増加します。
▼ Q	設定項目を選択したり、値を減少します。
MODE OK	選択項目を決定します。
MENU D	モード画面へ戻ります。

システム設定メニューへの変更

1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、REC ボタンを押して、動画記録を停止する

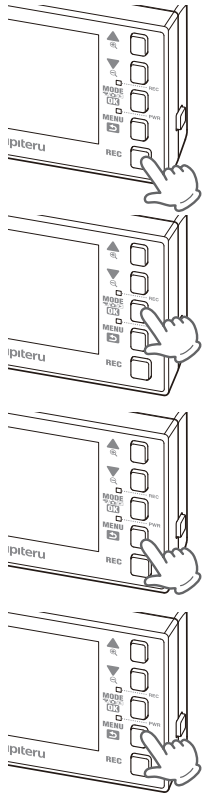
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

2 MODE ボタンを押して、動画記録モードを選択する

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

3 MENU ボタンを押して、動画記録モードの設定メニューを表示する

4 もう一度 MODE ボタンを押すと、システム設定メニューを表示します。



静止画を記録する

静止画記録モード画面

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。



No.	表示名	説 明
①	モードアイコン	静止画記録モードアイコンを表示します。
②	ファインダー	カメラのファインダーです。
③	ズーム倍率	ズーム倍率を表示します。(x1.2 から x4.0 のズーム時) ※ ズーム倍率は固定されません。電源を OFF にしたり、他のモードに変更した場合、1.0 倍に戻ります。
④	撮影可能枚数	残りの microSD カード容量で撮影可能な静止画枚数を表示します。
⑤	microSD アイコン	microSD カードが挿入されていることを表示します。
⑥	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(P.17)

静止画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機 能
	1 倍～ 4 倍までズームインします。
	4 倍～ 1 倍までズームアウトします。
	モード変更
	なし

静止画を記録する

静止画記録モードにすると、デジタルカメラのように静止画を撮影できます。

1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、REC ボタンを押して、動画記録を停止する

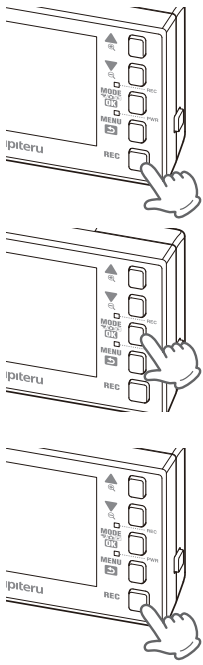
※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

2 ボタンを押して、静止画記録モードにモード変更する

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

3 REC ボタンを押して、静止画を記録する

※ 静止画の解像度は、2592x1944 となります。変更はできません。



静止画記録モード

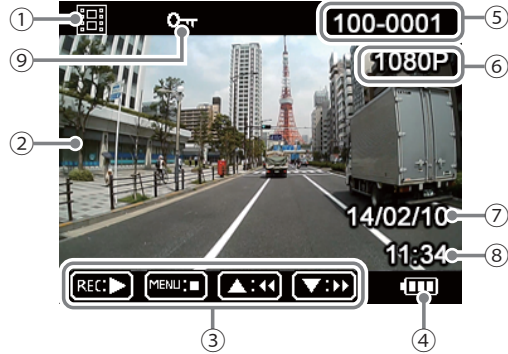
静止画記録モード

記録ファイルを再生する

再生モード画面

再生モードにすると、記録したファイルを本機上で見ることができます。

動画再生画面



静止画再生画面



No.	表示名	説明
①	ファイルアイコン	動画アイコン、または静止画アイコンを表示します。
②	記録映像	記録した動画または静止画を再生します。
③	操作アイコン	操作ボタンの機能を表示します。
	記録日時	記録ファイルに書き込まれた記録日時を表示します。
④	内蔵電池アイコン	内蔵電池の残量を表示します。(P.17)
⑤	ファイル番号	フォルダとファイル番号を表示します。
⑥	ファイル解像度	記録解像度を表示します。(P.24)
⑦	記録日付	映像を記録した日付を表示します。
⑧	記録時刻	映像を記録した時刻を表示します。
⑨	ファイルプロテクトアイコン	ワンタッチ記録されたファイルに表示します。

再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機能
▲ Ⓜ	ファイル選択時	前のファイルを表示
	ファイル再生時	巻き戻し (x-2、x-4、x-8)
▼ Ⓜ	ファイル選択時	次のファイルを表示
	ファイル再生時	早送り (x2、x4、x8)
MODE OK	ファイル選択時	モード変更
MENU S	ファイル選択時	再生設定メニューへ
	ファイル再生時	停止
REC	ファイル選択時	再生
	ファイル再生時	一時停止

記録ファイルを再生する

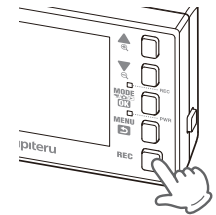
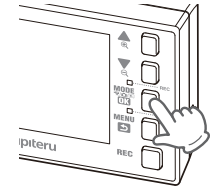
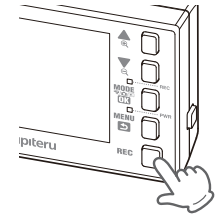
1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、REC ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

2 MODE ボタンを押して、再生モードにモード変更する

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

3 ▲ ▼ ボタンを押して記録ファイルを選び、REC ボタンを押して再生する



再生モードの設定メニュー

再生モードの設定を、確認または変更します。



項 目	設 定	説 明
音量	0/1/2/3/4/5/6(★)/7/8	記録ファイルの再生音量や、操作音、起動音を設定します。
消去	現在のファイルを削除	記録ファイルを削除します。選択中のファイルか、全てのファイルが選択してください。 ※「全コマ消去」では上書き禁止ファイルは消去されません。
	全コマ消去	
フォーマット	SD カード	microSD カードをフォーマット (初期化) します。 (●P.34) ※ 上書き禁止ファイルも消去されます。

★は初期設定値です。

設定操作時のボタンの機能

ボタン	機 能
▲ Q	設定項目を選択したり、値を増加します。
▼ Q	設定項目を選択したり、値を減少します。
MODE OK	選択項目を決定します。
MENU S	モード画面へ戻ります。

設定メニューへの変更

1 本機の電源が ON になっていることを確認し、動画記録中の場合は、REC ボタンを押して、動画記録を停止する

※ 動画記録中には、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

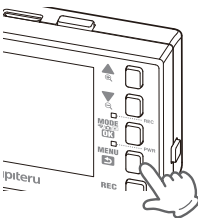
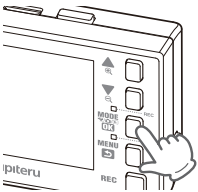
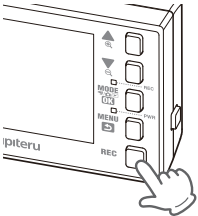
2  ボタンを押して、再生モードを選択する

※ 押すたびに、[ 動画記録モード] → [ 静止画記録モード] → [ 再生モード] にモード変更します。

3  ボタンを押して、再生モードの設定メニューを表示する

・もう一度  ボタンを押すと、システム設定メニューを表示します。

※ システム設定メニューは動画記録モードで表示されるものと同じです。(●P.26)



microSD カードのフォーマット

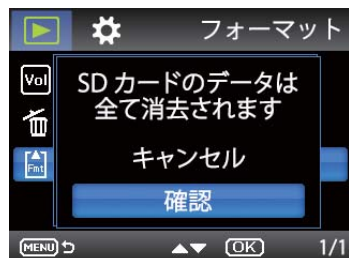
- 1 ▲ ▼ ボタンを押して [フォーマット] を選択し、MODE OK ボタンを押す



- 2 [SD カード] を選択して、MODE OK ボタンを押す



- 3 ▼ ボタンを押して [確認] を選択し、MODE OK ボタンを押す



フォーマットが開始されます。

※ フォーマットが完了すると、設定メニューに戻ります。

準備する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、Google Map と連動させて表示することが出来ます。

以下の仕様を満たしたパソコンで専用ビューアソフトを使用することができます。

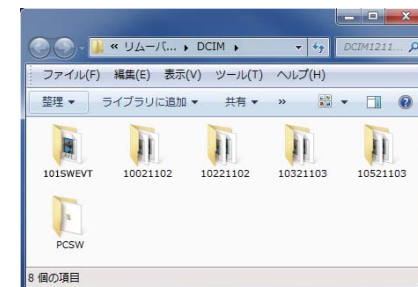
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。
- ※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>
- ※ ご使用の microSD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、microSD カード内のファイルが破損することがあります。

OS : Microsoft Windows7 または 8
CPU : Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上

専用ビューアソフトをインストールする

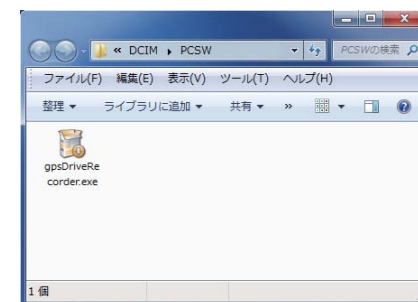
- 1 本機から取り出した microSD カードをパソコンに接続する (P.20)

- 2 リムーバブルディスクを開き、[DCIM] フォルダ内の [PCSW] フォルダをダブルクリックする



- 3 [gpsDriveRecorder.exe] をダブルクリックする

※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、gpsDriveRecorder と表示されます。



4 セットアップウィザードの開始

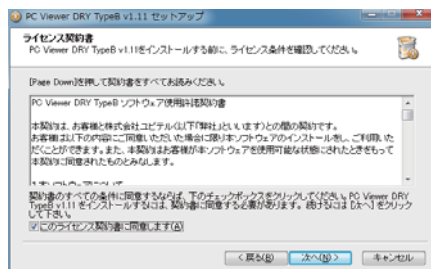
[次へ]をクリックしてください。



5 使用許諾契約書に同意する

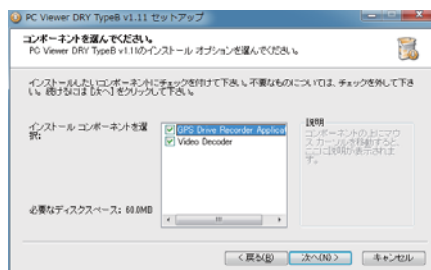
「このライセンス契約書に同意します」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

※ チェックを入れていない状態では、[次へ]をクリックすることができません。



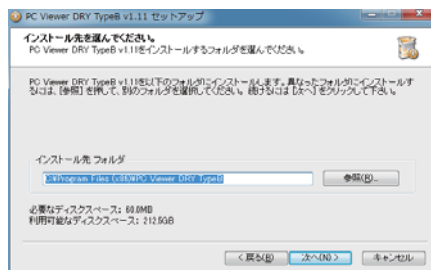
6 インストールするオプションを選択する

通常はそのまま問題ありません。準備ができたなら、[次へ]をクリックしてください。



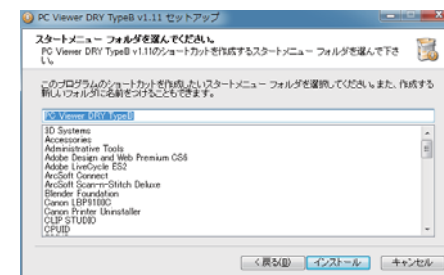
7 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。



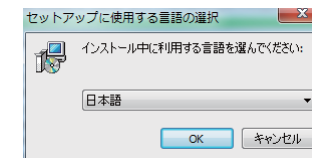
8 スタートメニューフォルダを選択する

ショートカットを作成するスタートメニューフォルダを選択してください。通常はそのまま問題ありません。準備ができたなら、[インストール]をクリックしてください。



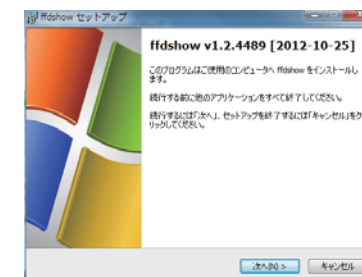
9 セットアップに使用する言語を選択する

[日本語] が選択されていることを確認して、[OK]をクリックします。



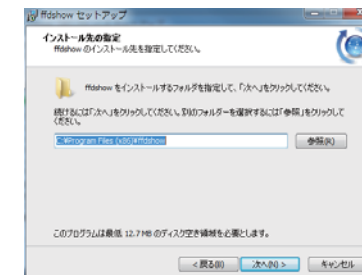
10 ffdshow のセットアップを開始する

[次へ]をクリックしてください。



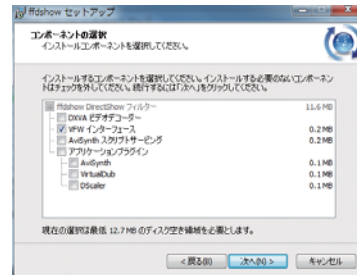
11 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。



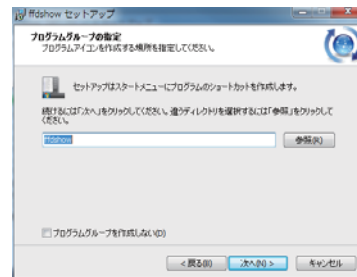
12 コンポーネントの選択

通常はそのまま問題ありません。
準備ができたなら、[次へ]をクリックしてください。



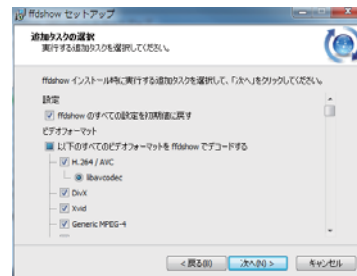
13 プログラムグループの指定

プログラムアイコンを作成する場所を指定してください。
通常はそのまま問題ありません。
準備ができたなら、[次へ]をクリックしてください。



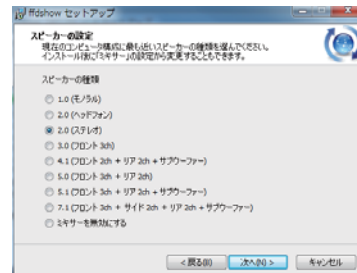
14 追加タスクの選択

実行する追加タスクを選択してください。
通常はそのまま問題ありません。
準備ができたなら、[次へ]をクリックしてください。



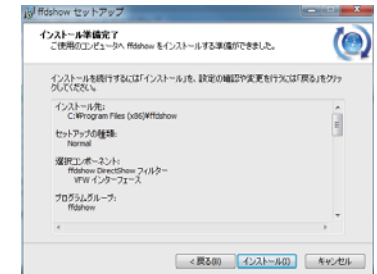
15 スピーカーの設定

現在のコンピュータ構成に最も近いスピーカーの種類を選んでください。
準備ができたなら、[次へ]をクリックしてください。



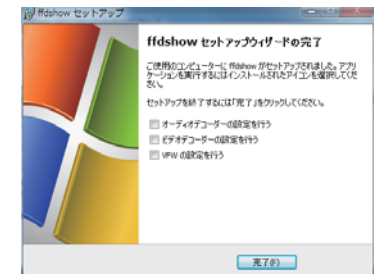
16 インストール準備完了

[インストール]をクリックしてください。



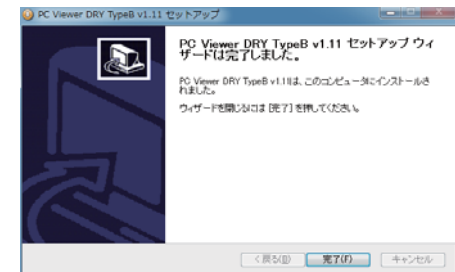
17 ffdshow セットアップウィザードの完了

通常はそのまま問題ありません。
準備ができたなら、[完了]をクリックしてください。



18 セットアップの完了

[完了]をクリックします。



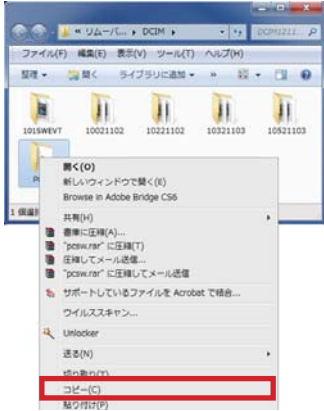
専用ビューアソフトのバックアップ(コピー)について

専用ビューアソフトは同梱品の microSD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

1 本機から取り出した microSD カードをパソコンに接続する (➡ P.20)

2 リムーバブルディスクを開き、[DCIM] フォルダ内の [PCSW] フォルダ上で右クリックし、[コピー] を選択する



3 デスクトップ上で右クリックし、[貼り付け] を選択する



4 保存の完了

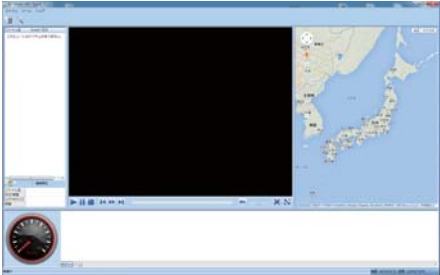
デスクトップに[PCSW]のフォルダがコピーされます。

専用ビューアソフトの起動と終了

専用ビューアソフトの起動

1 デスクトップにある [PC Viewer DRY TypeB] アイコンをクリックする

専用ビューアソフトが起動します。



2 プロダクトキーを入力し、[OK] をクリックする

初回起動時には、プロダクトキーの入力を求められます。
本書裏表紙のプロダクトキーを入力してください。

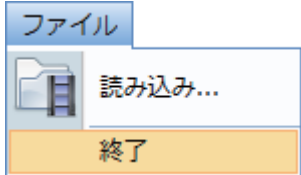
※ 専用ビューアソフトの再インストールの際にプロダクトキーが必要になります。本書を大切に保管してください。



専用ビューアソフトの終了

1 [ファイル] メニューにある [終了] を選択する

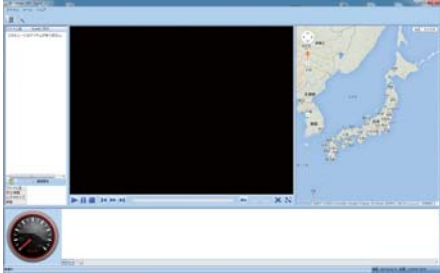
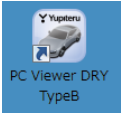
専用ビューアソフトが終了します。



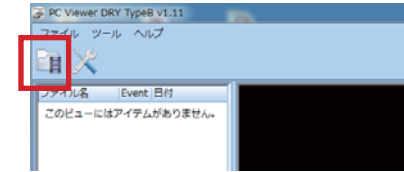
録画データの準備

1 本機から取り出した microSD カードを専用ビューアソフトがインストールされているパソコンに接続する (●P.20)

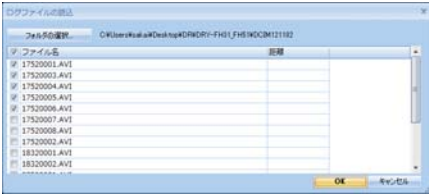
2 デスクトップにある [PC Viewer DRY TypeB] アイコンをクリックする
専用ビューアソフトが起動します。



3 (読み込み) をクリックする
または、[ファイル]メニューの[読み込み]をクリックします。



4 読み込みたい映像ファイルにチェックを入れて、[OK] をクリックする



- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、ビデオリスト最上段の映像が表示されます。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No.	表示名	表示の意味	
①	メニュー	ファイル	読み込み / 終了
		ツール	オプション (●P.44)
		ヘルプ	バージョン情報
		読み込みボタン	ファイルを読み込むウィンドウが開きます。
②	ビデオリスト	オプションボタン	オプション設定のウィンドウが開きます。(●P.44)
		読み込みボタン	読み込まれているビデオのファイル名をリスト表示します。
③	表示エリア	ビデオリストで選択したビデオの映像を表示します。	
④	ゴミ箱	ビデオリストで選択したファイルを専用ビューアソフトから削除します。 ※読み込んだデータ自体は削除されません。	
		連続再生	
⑤	走行速度表示	チェックを入れると、ビデオリストのファイルを連続して再生します。	
		ファイル情報	
⑥	ファイルコントロール	選択されているファイルの名前、日時、サイズ、長さを表示します。	
		再生ボタン	GPS で記録した走行速度を表示します。
		一時停止	ビデオリストから選択したファイルを再生します。
		停止ボタン	再生中の選択ファイルを一時停止します。
		ファイルの先頭へ	再生中の選択ファイルを停止します。
		早送り再生	選択ファイルの先頭のコマへ移動します。
		ファイルの最後へ	早送り再生
		タイムライン	早送りで再生します。
		音量調整	選択ファイルの最後のコマへ移動します。
		スナップショット	選択ファイルの再生位置を表示し、ドラッグすると再生位置を変更することができます。
⑦	地図表示	クリックでミュートし、スライダーで音量を調整します。	
		全画面表示	
⑧	走行速度グラフ	再生中の選択ファイルから静止画を保存します。	
		全画面表示	
⑦	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。	
		拡大・縮小や移動など、Google Maps に準じた操作ができます。	
		インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps) は表示されません。	
⑧	走行速度グラフ	再生中の選択ファイルを全画面で再生します。	
⑧	走行速度グラフ	走行速度をグラフを表示します。横軸の時間は録画時間によって変化します。	

オプション画面について

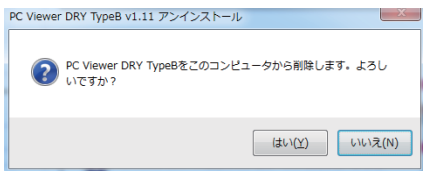


No.	表示名	表示の意味	
①	単位設定	距離単位	メートルを選択します。
		緯度 / 経度	度、分、秒または度から選択します。 ※ 通常は変更する必要はありません。
②	Google アース / Google マップ	Map Server	Google Map のサーバーを選択します。 ※ 通常は変更する必要はありません。
③	表示言語	使用言語	日本語 / Japanese を選択します。

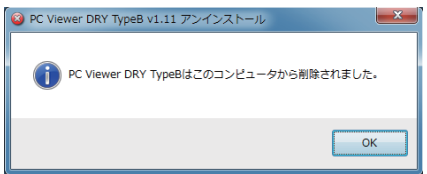
専用ビューアソフトをアンインストールする

1 スタートメニューの [PC Viewer DRY TypeB] の [Uninstall] から、[PC Viewer DRY TypeB Uninstall] を選択する。

2 [はい] をクリックする
アンインストールを開始します。



3 [OK] をクリックする
アンインストールを終了します。

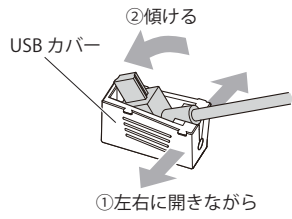


別売品の電源直結コードをご使用の際は、「USB カバー」を装着してお使いください。
「USB カバー」は同梱品の 5V コンバーター付シガープラグコードに装着されています。

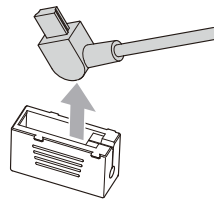
USB カバーの取り外し

同梱品の 5V コンバーター付シガープラグコードから「USB カバー」を取り外します。

1 USB カバーを左右に開きながら、プラグを傾ける



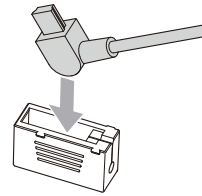
2 プラグを上引き抜き、USB カバーを取り外す



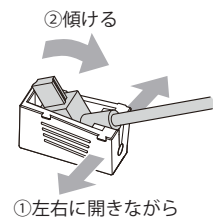
USB カバーの取り付け

取り外した「USB カバー」を別売品の電源直結コードのプラグに取り付けます。

1 プラグを USB カバーに入れる



2 USB カバーを左右に開きながら、プラグを傾ける



3 しっかり奥まで押し込む

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？

電源が入らない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
- 充電されていますか。(本体のみで使用する時)

➡15
➡17

映像が記録できない

- 同梱品の microSD カードが正しく挿入されていますか。
- プロテクトされたファイルで microSD カードがいっぱいになっていませんか。

➡14
➡19

モニター画面に斑点や輝点がある

- 液晶パネルの現象です、故障ではありません。(有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。)

➡7

動作しなくなったり、誤作動を起こす

- 本体下面のリセットボタンを押して、本機を再起動してください。
- リセットボタンを押しても動作しない場合、microSD カード内の記録映像をバックアップなどしてから、本機で microSD カードをフォーマットし、再度記録を開始してください。

➡16
➡34

エンジンを切るとズーム倍率が 1.0 に戻る

- 本機はズーム倍率を保持しません。

—

「SD カードエラー」と表示する

- 同梱品の microSD カードが正しく挿入されていますか。
- 本機で microSD カードをフォーマットしてください。

➡14
➡34

「SD カード容量がいっぱいです」と表示する

- 常時録画上書きが「オフ」になっていませんか。

➡24

仕様

電源電圧	本体 (DCジャック) DC 5V	同梱品の 5V コンバータ付シガー プラグコード DC 5V 出力 (DC 12V マイナスアース車専用)
消費電力	5W	
カメラ素子	カラー CMOS	
視野角 ※	レンズ画角：対角 140° (100° (水平) 、70° (垂直)) 最大記録画角：対角 115° (95° (水平) 、52° (垂直))	
デジタルズーム	x1.0 ～ x4.0	
モニター	2.4 インチ フルカラー TFT 液晶	
記録解像度	動画：200 万画素 静止画：500 万画素	
画像サイズ	動画：720P (1280 x 720)/1080P (1440 x 1080)/1080P HD (1920 x 1080) 静止画：2592 x 1944	
記録媒体	microSD カード (4GB 同梱)	
記録形式	動画：AVI (H.264) 静止画：JPEG	
フレームレート	720P：30,15 コマ/秒 1080P：15 コマ/秒 1080P HD：10 コマ/秒	
動作温度範囲	0℃ ～ +60℃	
外形寸法	99(W) × 54(H) × 50(D) mm (突起部除く)	
重量	約 108g (microSD カード含む)	

※ 解像度により記録される視野角が変化します。
※ 超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

● 記録時間の目安

microSD カード容量	720P 15fps	720P 30fps	1080P	1080P HD
32GB	約 960 分	約 560 分	約 400 分	約 400 分
16GB	約 480 分	約 280 分	約 200 分	約 200 分
8GB	約 240 分	約 140 分	約 100 分	約 100 分
4GB	約 120 分	約 70 分	約 50 分	約 50 分
2GB	約 60 分	約 35 分	約 25 分	約 25 分

- ・上記値は目安で、絶対保障値ではありません。
 - ・記録時間は、常時録画、ワンタッチ記録の全ての記録時間の合計です。お使いの状況により、記録可能時間は変化します。
 - ・被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。
 - ・本機は、2GB 以上の microSD カードまたは、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。
(SD スピードクラス※「Class6」以上)
 - ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。
- ※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

This image shows a full page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a template for handwriting practice. There are no margins, text, or other markings on the page.

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.